

1 教育目標

線部は校区小学校との共通項目

(1) 本校の教育目標

【校訓】 正しく 強く 明るく

○ 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、実践力のある生徒の育成を目指す。

【目指す生徒像】 気づき、考え、実行し、振り返る生徒

○ 21 世紀を力強く、心豊かで、しなやかに生き抜くために、行動目標として、自分の行動を振り返る生徒の育成に努める。

ア 創造性に優れ、知恵を磨く生徒

イ 健康で、活力に満ちた生徒

ウ 心豊かで、ともに生き抜く生徒

エ 地域を知り、郷土を愛する生徒

(2) 経営方針

多様な「幸せ」実現

自らの個性を生かして社会で活躍する人材の育成を目指して、ダイバーシティ（多様性）を尊重し、個別多様な「幸せ」の実現を一丸となって支え合う教育活動を行う。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 多様な「生き方」を尊重し合う学校づくり

- ・ 学校全体で、互いの「自己調整」「自己決定」を認め合い、多様なライフスタイルをもつ他者を尊重し合う中で、「前例踏襲」を打破した業務・授業改善の具体化に「チーム佐織」一丸となって取り組む。
- ・ 生徒の実態に応じた弾力的な「担任制」を実施し、グループ担任制と固定担任制の長所を生かした学年経営を進めることで、多様な人とのかかわりを深め、生徒の成長と自立を促進する。
- ・ 3 年間を見通した系統的ないのちや性に関する授業の実施を通じて、人権教育の充実を図る。

イ 多様な「個」を高め合う授業づくり

- ・ 「個別最適な学び」の実現に向けた現職教育研究の充実に努めつつ、具体的な授業改革を学校全体で推進する。
- ・ 家庭学習の個別・個性化および家庭と連携した学習の実現を目指して、タブレット端末の効果的活用法のさらなる開発に努める。
- ・ 「AI 採点システム」を導入することで、教員のさらなる業務改善を進めるとともに、生徒の学力の状況について適切に把握・分析をすることで学力の向上を図る。

ウ 多様な「場」を広げる環境づくり

- ・ 個別に心の休息や学力の補充を図ることを目的とした「オアシスルーム」について、さらなる環境の整備と教員間の情報共有を推進することで、より充実した支援を行う。
- ・ 不登校傾向の生徒や出席停止生徒へのオンライン授業の積極的な実施を行い、個に応じた学びの実現に努める。

エ 多様な「絆」で支え合う人づくり

- ・ 自衛隊や JICA 等の外部機関、地域の民間企業、小学校と連携をした活動をより充実させ、地域に根差しつつ社会とつながる人材の育成を進めるとともに、「中1ギャップ」の解消に努める。
- ・ 生徒会を中心とした「自治活動」を推進しつつ、保護者・地域による各種ボランティア活動や、保護者を対象とした日常的な学校開放を実施することで、生徒・家庭・地域が一体となった学校づくりを推進する。
- ・ 保護者・地域への積極的な情報発信を実施することで、家庭・地域との連携を深める。

一つでも多くの「嬉しい」「楽しい」という「幸せ」な気持ちを子どもたちに与え、
「今日は楽しい日だった」「明日はがんばるぞ」と思って帰宅することを大切にできる学校へ